

デジタル放送汎用視聴プログラム実装研究資料 ヘルプ

- [はじめに](#)
- [使い方](#)
- [設定](#)
- [FAQ\(よくある質問\)](#)
- [Tips](#)

はじめに

デジタル放送汎用視聴プログラム実装研究資料とは

デジタル放送汎用視聴プログラム実装研究資料(略称 TVTest)は、パーソナルコンピュータ上において、デジタル放送の視聴を行うプログラムの実装を研究する目的で頒布される研究資料です。

この資料は MPEG-2 TS を扱うための基本的な機能を実装しています。CAS 処理は実装されていないため、一般のテレビ放送を視聴することはできません。

試驗環境

Windows XP SP2 以降 / Vista / 7 / 8 / 10

試験準備

試験準備の方法は[導入](#)を参照してください。

更新

ファイルを全て上書きします。
本体以外も更新されたファイルは上書きしてください。

試験終了

ファイルを削除します。
レジストリや他のフォルダに設定の保存などはしません。

導入

試験準備

TVTest で視聴試験を行うには別途映像デコーダ (MPEG-2 / H.264 / H.265) が必要です。

もしお使いの環境に入っていない場合は、インストールしておく必要があります。

(Vista/7 では Microsoft のデコーダがデフォルトで入っています。

Windows 8/10 では Microsoft のデコーダでの MPEG-2 のデコード機能が有料オプションとなっています)

動作が確認されているデコーダについては、[「デコーダとレンダラ」](#)のページを参照してください。

起動

初回起動時に[初期設定ダイアログ](#)が表示されますので、各項目を設定してください。

TVTest を起動したら、チャンネルスキャンを実行して視聴可能なチャンネルを検索します(チャンネルスキャンを行わなくても使用することは可能です)。

初回起動時にチャンネルスキャンを行うかどうかを尋ねられますので、そこで [はい] を選択するか、右クリックメニューの [設定] で表示される設定ダイアログから、[\[チャンネルスキャン\]](#) を選択します。

[スキャン開始] ボタンを押すとチャンネルスキャンが始まります。スキャンには数分掛かります。

深夜などで停波している局は検出できませんので注意してください。

使用しているチューナーが複数のチューニング空間に対応している場合は、チューニング空間ごとにスキャンを行う必要があります。

BS/CS 放送の場合はプリセットが読み込まれますが、CS はチャンネルの変更が頻繁にあるためスキャンした方がいいかも知れません。

設定

設定を好みに応じて変更してください。
録画を行う場合は、録画時の保存先のフォルダを予め設定しておく必要があります。

初期設定ダイアログ

初期設定ダイアログでは、TVTest の初期設定を行います。
ここでの設定は、[設定ダイアログ](#)で後から変更することができます。

初期設定ダイアログは、TVTest を最初に起動した際に表示されますが、[コマンドライン](#)で /init を指定することによっても表示させることができます。

正常に起動しなくなった場合など、起動させることができずに設定の変更が行えないような場合に使用します。

各設定項目の内容は以下の通りです。

BonDriver

使用する BonDriver のファイル名です。
複数の BonDriver を使う場合、BonDriver の変更はメニューなどから簡単にできますので、ここでは適当に一つ選んでください。

デコーダ

MPEG-2 デコーダを選択します。

「自動」を選択すると、利用可能なデコーダを検索して使用します。
リストにあっても実際には使用できないものもあります。
詳しくは[デコーダとレンダラ](#)を参照してください。

レンダラ

ビデオレンダラを選択します。

レンダラによって画質やパフォーマンスに影響を与えます。

よく分からない場合はデフォルト、キャプチャを(安定して)行いたい場合は、VMR9 Renderless を選択してください。

Vista 以降の場合は EVR がいいと思います(ただしキャプチャの画質に問題あり)。

詳しくは[デコーダとレンダラ](#)を参照してください。

録画ファイルの保存先フォルダ

録画したファイルを保存するフォルダを指定します。

使い方

操作は、画面下にある[ステータスバー](#)か、画面右クリックでの[メニュー](#)から行います。

また、マウスカーソルを画面左端に移動すると[サイドバー](#)が表示され、アイコンから機能を実行できます。















画面をダブルクリックするとフルスクリーン表示になります。

ウィンドウを Shift キーを押しながらリサイズすると、ウィンドウサイズが画面のアスペクト比に合わせて調整されます。また、設定で Shift キーを押さずにアスペクト比に合わせるようにすることもできます。

ステータスバー

画面下に表示されるステータスバーによって、各種の情報表示と操作が行えます。

ステータスバーには以下の項目を表示することができます。

	項目	表示内容	左クリック	右クリック
	チューナー	現在のチューナー	チューニング空間/ドライバ選択	チューニング空間/ドライバからチャンネル選択
	チャンネル	現在のチャンネル	チャンネル選択	サービス選択
	お気に入り		お気に入りメニュー	お気に入りに追加
	映像サイズ	幅 x 高さ (倍率)	表示倍率選択	アスペクト比選択
	音量	現在の音量	音量の変更	消音
	音声	現在のモード	音声切替	音声切替メニュー
	録画	現在の録画状況	録画開始/停止	録画メニュー
	キャプチャ		キャプチャ実行	キャプチャメニュー
	エラー	ドロップ(D) / エラーパケット(E) / 暗号化パケット(S)	リセット	
	信号レベル	感度 / ビットレート		
	時計	現在の時刻	PC/TOT時刻の切り替え	メニュー
	番組情報	現在の番組の情報	現在/次の番組の切り替え	メニュー
	バッファリング	BonDriverのバッファ残量(R) / バッファ使用率(B)		バッファリングメニュー
	ビットレート	映像ビットレート(V) / 音声ビットレート(A)		

ステータスバーのチャンネル/音量/音声の各項目にフォーカスがある状態でホイールを使用すると、その項目に合わせた動作をします。

ステータスバーの項目の順序、表示/非表示、大きさは[設定](#)で変更することができます。

サイドバー

画面左にカーソルを移動すると、サイドバーが表示されます。
サイドバーでは、アイコンから機能を利用できます。
サイドバーに表示するアイコンは[設定のサイドバー](#)のページで行えます。
また、サイドバーの右クリックメニューから、表示位置の変更や常に表示しておくように設定することができます。

パネル

右クリックメニューから [パネルウィンドウ] を選択すると、各種情報の表示などが行えるパネルが表示されます。

パネルは本体とドッキングまたは分離させた状態で使用できます。

パネルを本体とドッキングさせるには、パネルのウィンドウを本体のウィンドウの上下左右いずれかの端にドラッグするか、タイトルバーを右クリックしてメニューから [ドッキング] を選択します。

パネルがドッキングされている時、タイトル部分を右クリックするとメニューから切り離しやドッキング位置の変更が行えます。

表示項目やフォントなどを[設定](#)の [パネル] で変更できます。

パネルの各タブの機能は以下の通りです。

情報

各種の情報が表示されます。
右クリックメニューから表示する項目を選択できます。

番組表

視聴中のチャンネルの番組表が表示されます。
右クリックメニューから各種設定を行えます。

チャンネル

チャンネルを切り替えます。

EPG データが取得されていれば番組情報が表示されます。

右クリックメニューから各種設定を行えます。

操作

チャンネル切り替え、音量の変更などの操作が行えます。

字幕

字幕のテキストが表示されます。
右クリックメニューでコピーなどが行えます。

メニュー

TVTest の画面を右クリックすることによって、メニューが表示されます。

表示する項目は[メニュー設定](#)でカスタマイズできます。

その場合、Shift キーを押しながら右クリックすることで、設定を無視してデフォルトのメニューを表示させることができます。

各項目の機能は以下の通りです。

倍率

映像の表示倍率を指定します。

比率

映像のアスペクト比及びパンスキャンを選択します。

全画面表示

全画面表示を行います。

画面をダブルクリックすることによっても全画面表示に切り替えられます(デフォルトの設定の場合)。

常に前面に表示

ウィンドウが常に最前面に表示されるようにします

チャンネル

チャンネルを選択します。

サービス

視聴するサービスを選択します。

チューナー

チューニング空間及び BonDriver を選択します。

チャンネル選択画面

チャンネル選択用のメニュー画面が表示されます。

参照

BonDriver のファイルを選択します。

チューナーを閉じる

現在使用しているチューナーを閉じます。

お気に入りチャンネル

お気に入りとして登録したチャンネルが表示されます。

最近見たチャンネル

最近見たチャンネルの履歴が表示されます。

ワンセグモード

ワンセグ優先で再生します。

音量

音量を変更します。

音量増幅を行うと、音量を大きくすることができます。音量を最大にしても小さい場合に選択します。

ただし、過度に増幅するとクリップノイズが発生しますので、できればシステムや再生機器側で音量を制御した方が良いです。

音声

ステレオの再生モード及び再生する音声ストリームを選択します。
デュアルモノの場合、主音声と副音声を切り替えられます。
二ヶ国語放送などで複数の音声ストリームがある場合、その中から再生するストリームを選択します。

S/PDIFパススルー：無効

S/PDIF パススルーを行わないようにします。

S/PDIFパススルー：有効

S/PDIF パススルーを行うようにします。

S/PDIFパススルー：自動切替

音声の形式に応じて S/PDIF パススルーを行うかどうかを切り替えます。
[音声設定](#)でどの形式の時にパススルーを行うかを設定できます。

音ずれ補正 音声を早める

音ずれ補正 音声を遅らせる

音声の再生タイミングを調整して音ずれを補正します。
[操作設定](#)で調整量を設定できます。
補正されるずれは最大で1秒までです。

音ずれ補正 リセット

音ずれ補正を行わないようにします。

映像切替

複数の映像が存在する場合、再生する映像を切り替えます。

録画開始/停止

録画を開始及び停止します。

録画(詳細指定)

詳細設定を行ってから録画を開始します。

再生オフ

再生をオフにします。
もう一度選択すると再生がオンになります。

画像のコピー

画面の画像をクリップボードにコピーします。

画像の保存

画面の画像をファイルに保存します。
保存先や形式などは[設定ダイアログ](#)の[キャプチャ](#)で行います。

キャプチャウィンドウ

キャプチャのプレビューを行うウィンドウを表示します。

リセット

リセットを行います。

視聴に異常が出た場合に、リセットを行うと直ることがあります。ただし、録画中の場合は録画に影響を与えますので注意してください。

[ビューアリセット] では DirectShow の部分のみリセットを行います。こちらは録画に影響を与えません。

[DirectShowの再初期化] は、フィルタグラフを再構築します。

パネルウィンドウ

[パネル](#)ウィンドウを表示します。

EPG番組表

[EPG番組表](#)を表示します。

バー/枠

タイトルバー

タイトルバーの表示/非表示を切り替えます。

ステータスバー

[ステータスバー](#)の表示/非表示を切り替えます。

サイドバー

[サイドバー](#)を常時表示するか否かを切り替えます。

ウィンドウ枠

ウィンドウの枠を通常のものとは細いもので切り替えます。
通常以外にした場合は [独自タイトルバーを使用] が強制的に有効になります。
[細くする] にした場合の幅を変える方法は [Tips](#) の「ウィンドウの枠を細くする」を参照してください。

独自タイトルバーを使用

タイトルバーを独自のものと Windows 標準のものとの切り替えます。
ウィンドウ枠を通常以外にした場合は、常に独自タイトルバーになります。

パネルドッキング時にタイトルバーを分割

パネルをメインウィンドウとドッキングした際に、タイトルバーを分割するか否かを切り替えます。

プラグイン

各プラグインの有効/無効を設定します。

設定

[設定ダイアログ](#)を表示します。

フィルタのプロパティ

デコーダなどの各フィルタのプロパティを表示します。
フィルタによってはプロパティが無いものもあります。

ストリームの情報

受信中のストリームの情報を表示します。

閉じる

ウィンドウを閉じます。

[設定](#)で常駐するように設定している場合は待機状態になります。

録画

録画の方法

録画を開始するには、ステータスバーの <録画> の項目を左クリックするか、右クリックメニューから [録画開始/停止] を選択します。また、メニューから [録画(詳細指定)] を選択すると、ファイル名や停止時間を指定して録画を開始することができます。録画を開始した後で停止時間を指定/変更する場合も [録画(詳細指定)] の項目を選択して設定します。

録画中は、[パネル](#)の情報タブにファイルサイズや空きディスク容量が表示されます。

さかのぼり録画

ステータスバーの録画の項目を右クリックして表示されるメニューから [さかのぼり録画を有効にする] をチェックすると、さかのぼり録画機能が有効になります。

さかのぼり録画を有効にした場合、[録画の設定](#)の [さかのぼり録画のメモリサイズ] で設定されているサイズ分だけ過去のデータが保持されます。

[さかのぼり録画開始] を選択して録画を開始すると、過去の分も含めて録画されます。

通常の [録画開始/停止] で録画を開始した場合は、さかのぼり録画は適用されません。

コマンドライン

以下のコマンドラインオプションが使用できます。

※複数あるものはどちらでも可。/の代わりに-でも可。

動作一般	
/ini	INI ファイル名の指定 (e.g. /ini TVTest2.ini)
/init	初期設定ダイアログ を表示する
/inikey	INI ファイルの設定値を上書きする [セクション]名前=値 の形式で指定します。セクションを省略すると [Settings] が指定されたとみなされます。 (e.g. /inikey [Settings]AlwaysOnTop=yes) (e.g. /inikey "Mpeg2Decoder=Hoge MPEG-2 Decoder")
/log	終了時にログを保存する
/silent	エラー時にダイアログを表示しない
/s	TVTest が既に起動している場合、複数起動しない
/standby	待機状態で起動する
/nd	TSプロセッサを無効にする
/plugindir	プラグインの読み込み元フォルダ (e.g. /plugindir Plugins2)
/noplugin	プラグインを読み込まない
/plugin-	指定されたプラグインを読み込まない (e.g. /plugin- Equalizer.tvtp)
/home	ホーム画面を表示する
/chdisplay	チャンネル選択画面を表示する
チューナー/チャンネル	
/d	BonDriver の指定 (e.g. /d BonDriver.dll)
/nodriver	BonDriver を読み込まない
/ch	チャンネルの指定(物理チャンネル番号) (e.g. /ch 13)
/rch	チャンネルの指定(リモコンチャンネル番号) (e.g. /rch 3)
/chspace	チューニング空間の指定(BonDriver でのインデックス) (e.g. /chspace 1)
/sid	サービスIDの指定 (e.g. /sid 1024)
/nid	ネットワークIDの指定 (e.g. /nid 32736)
/tsid	トランスポートストリームIDの指定 (e.g. /tsid 32736)
/nr	ネットワークリモコンを使用する
/port /p	BonDriver_UDP/TCP のポート番号 (e.g. /port 1234)
/1seg	ワンセグモードにする
ウィンドウ	
/fullscreen /f	全画面表示
/min	最小化状態で起動する
/max	最大化状態で起動する
/tray	タスクトレイに格納した状態で起動する

/posx	ウィンドウの左位置の指定 (e.g. /posx 100)
/posy	ウィンドウの上位置の指定 (e.g. /posy 80)
/width	ウィンドウの幅の指定 (e.g. /width 1920)
/height	ウィンドウの高さの指定 (e.g. /height 480)
再生	
/noview	起動時画面表示オフ
/nodshow	起動時に DirectShow を初期化しない 視聴せずに録画のみ行う場合に指定すると、メモリ使用量がなかり減ります。 メニューの[再生オフ]のチェックを外せば、途中から視聴することも可能です。
/volume	音量を指定する(0から100まで) (e.g. /volume 50)
/mute	消音にする
/mpeg2	MPEG-2 の再生を有効にする
/h264	H.264 の再生を有効にする
/h265	H.265 の再生を有効にする
録画	
/rec	起動時録画開始
/reccurservice	現在のサービスのみ録画する
/recstarttime	録画開始日時 年/月/日-時:分:秒 の形式で指定します。 日付のみ、または時刻のみを指定することもできます。 年、月、秒は省略できます。時間は24以上の値を指定できます。 (e.g. /recstarttime 2011/2/1-3:30:00) (e.g. /recstarttime 25:30)
/recdelay	録画開始までの時間(秒単位) (e.g. /recdelay 60) h/m/s で 時間/分/秒 を指定することも可能です。詳細は /recduration の説明を参照してください。
/recduration	録画時間(秒単位) (e.g. /recduration 1800) 数字の後に h/m/s があるとそれぞれ 時間/分/秒 の指定になります。 その際複数指定することもできますが、途中でスペースなどは入れずに連続して記述してください。 (e.g. /recduration 30m) (e.g. /recduration 1h20m30s)
/recexit	録画終了時にプログラムを終了
/recfile	録画ファイル名 (e.g. /recfile "C:\ReocrdFiles\Record.ts")
/recstop	録画停止
EPG	
/noepg	EPG 情報の取得を行わない 番組表などは表示できなくなります。
/epg	EPG 番組表を表示する
/epgonly	EPG 番組表のみ表示する 番組表を閉じると終了します(視聴や録画を行っている場合を除く)。
/epgtuner	EPG 番組表のデフォルトの BonDriver の指定 (e.g. /epgtuner BonDriver_Hoge.dll) favorites にするとお気に入りチャンネルの番組表
/epgspace	EPG 番組表のデフォルトチューニング空間の指定 (e.g. /epgspace 1)

おまけ

udp://@:1234 のようなポート指定も有効です(なぜかこう指定している人が多いので)。

EPG番組表

右クリックメニューから [EPG番組表] を選択すると、EPG 番組表が表示されます。

番組表は、各チューナーのチャンネルの番組表、及びお気に入りのチャンネルの番組表を切り替えることができます。

番組表を切り替えるには、左上の [チューナーメニュー] ツールバーか、右クリックメニューの [チューナー] から選択します。

番組表の一番上のチャンネル名をクリックすると、そのチャンネルに切り替えられます。

また、右にある >> をクリックすると、そのチャンネルの一週間分の番組表示になります。

各番組上で右クリックして [iEPG関連付け実行] を選択すると、iEPGデジタルファイル(*.tvpid)に関連付けられているプログラムを、番組の情報を渡して起動します。

番組表の各チャンネルの幅や1時間当たりの行数などは、[設定ダイアログ](#)の [EPG番組表] で設定できます。

番組表の取得

番組表で右クリックしたメニューから [番組表の取得開始] を選択すると、各チャンネルを巡回して番組表を取得します。

EPG 情報の取得は視聴中も行っていますので、既に視聴したチャンネルの番組表は最初から表示されます。

特定の局の番組表のみ取得したい場合は、その局にチャンネルを合わせてしばらく(1~2分ほど)待ってから、[最新の情報に更新] を選択すれば番組表が表示されます。

番組の検索

番組表の右クリックメニューから [番組の検索] を選択すると、キーワードなどを指定して番組の検索が行えます。

詳しくは[EPG番組表の検索](#)を参照してください。

EPG番組表の検索

番組表の右クリックメニューから [番組の検索] を選択すると、キーワードなどを指定して番組の検索が行えます。

キーワードのアルファベットの半角と全角は同一視されます。[大/小文字区別] のチェックが入っていなければ、大文字と小文字も同一視されます。

キーワード検索

キーワードは半角スペースで区切って複数指定することができ、その場合は全てのキーワードに一致する番組が検索されます。

キーワードを|で区切ると、いずれかに一致する番組が検索されます。

半角スペースを含むキーワードを指定する場合は"で囲います。

キーワードの前に-を付けると、そのキーワードを含む番組が検索結果から除外されます。

検索例

ドラマ 殺人	"ドラマ" と "殺人" の両方を含む番組
ニュース スポーツ	"ニュース" と "スポーツ" のいずれか又は両方を含む番組
中継 巨人 阪神	"中継" を含んで、かつ "巨人" と "阪神" のいずれか又は両方も含む番組
徹子 -部屋	"徹子" を含んで "部屋" を含まない番組

正規表現検索

[正規表現] にチェックを入れると、正規表現を使用した検索が行えます。

以下の2つのいずれかの正規表現エンジンが使用できます。

ECMAScript(JavaScript)互換

ECMAScript(JavaScript)と互換性のある正規表現です。こちらがデフォルトになっています。

詳しくは JavaScript の正規表現の解説を参照してください。

https://developer.mozilla.org/ja/docs/Web/JavaScript/Guide/Regular_Expressions

bregonig.dll

K.Takata 氏によって開発されている Perl 互換の正規表現ライブラリです。ver.2 以降に対応しています。

bregonig.dll をプログラムと同じフォルダに入れると利用できます。

<http://homepage3.nifty.com/k-takata/mysoft/bregonig.html>

ジャンル検索

ツリーの中から検索結果に含めたいジャンルをチェックします。
大ジャンルがチェックされていて、その小ジャンルがいずれもチェックされていない場合、大ジャンルに該当する全ての番組が検索されます。

お気に入り

好きなチャンネルを集めた番組表を作るには、お気に入りチャンネルの機能を利用します。

メインウィンドウの右クリックメニューの [お気に入りチャンネル] -> [お気に入りに追加] で、現在視聴中のチャンネルをお気に入りに登録できます。

また [お気に入りの管理] で、順番の並べ替えやフォルダ分けができます。

EPG 番組表のチューナー選択で [お気に入りチャンネル] を選択すると、お気に入りに登録されたチャンネルの番組表が表示されます。

[お気に入りチャンネル] を選んだ直後では、お気に入りに登録された全てのチャンネルが表示されます。

そこからさらに、お気に入りの各フォルダを選択して、そのフォルダ内のチャンネルのみの番組表を表示できます。

右クリックメニューの [番組表選択ボタンに追加] で番組表選択ボタンに登録すれば、簡単に表示させることができます。

デフォルトで、お気に入りの全てのチャンネルを表示するボタンが登録されています。

設定

右クリックメニューから [設定] を選択すると、各種の設定を行う設定ダイアログが表示されます。

左側のリストから設定したい項目を選択してください。

- [一般](#)
- [表示](#)
- [OSD](#)
- [ステータスバー](#)
- [サイドバー](#)
- [メニュー](#)
- [パネル](#)
- [テーマ/配色](#)
- [操作](#)
- [キー割り当て](#)
- [リモコン](#)
- [BonDriver設定](#)
- [映像](#)
- [音声](#)
- [再生](#)
- [録画](#)
- [キャプチャ](#)
- [チャンネルスキャン](#)
- [EPG/番組情報](#)
- [EPG番組表](#)
- [プラグイン](#)
- [TSプロセッサー](#)
- [ログ](#)

一般

常駐する

常駐モードにします。

常駐モードにすると、タスクトレイにアイコンが表示され、ウィンドウを閉じることによって待機状態に入ります。その際、負荷を下げるために、録画中でなければチューナーが閉じられます。待機状態から復帰すると、再びチューナーが開かれます。

待機状態から復帰するには、トレイアイコンを左クリックするか、右クリックメニューから [表示] を選択します。または、リモコンの電源ボタンを押します。

複数起動を禁止する

TVTest の複数起動を禁止します。

メインウィンドウを閉じててもEPG番組表を閉じない

メインウィンドウを閉じた際にEPG番組表を閉じないようにします。その場合タスクトレイに格納され、タスクトレイのアイコンから再びメインウィンドウを表示させることができます ([コマンドラインオプション](#)に /epgonly を指定した場合と同じです)。チェックをしないと、メインウィンドウを閉じた際にEPG番組表も閉じられ、常駐していない場合はプログラムが終了します。

タスクバーのボタンをパス別にグループ化する

異なるパスに複数の TVTest をインストールしている場合、タスクバーのボタンがそれぞれ別にグループ化されるようにします。
この設定は Windows 7 以降で有効で、次回起動時に反映されます。

フルセグが受信できない場合ワンセグに切り替える

フルセグが受信できない時、ワンセグが再生されるようにします。

BonDriver検索フォルダ

BonDriver を検索するフォルダを指定します。

ここで指定されたフォルダにある BonDriver はメニューなどで選択できるようになります。

空欄にするとプログラムのファイルのあるフォルダになります。

プログラムのあるフォルダからの相対パスを指定することもできます。

この設定は次回起動時に反映されます。

デフォルトのBonDriver

起動時にデフォルトで読み込む BonDriver を指定します。
コマンドラインで指定されている場合は、そちらが優先されます。
[なし] に設定すると何の BonDriver も読み込まずに起動します。

ジャンプリストを有効にする

ジャンプリストに最近見たチャンネルなどを表示させるようにします。

ジャンプリストから複数起動しない

ジャンプリストからチャンネルを選択した際に、複数起動しないようにします。

表示

ウィンドウとディスプレイの端に吸着する

ウィンドウを移動した際に、他のウィンドウやディスプレイの端と隙間なく並ぶようにします。

この設定は Shift キーを押しながら移動することにより、一時的に反転させることができます。

ウィンドウサイズ変更時に映像のアスペクト比に合わせる

ウィンドウサイズを変更する際に、ウィンドウサイズが映像のアスペクト比に合うように調整されます。

この設定は Shift キーを押しながらサイズ変更することにより、一時的に反転させることができます。

ウィンドウサイズが変わる場合近い端を基点にする

表示倍率の変更などでウィンドウサイズが変わる時に、ディスプレイの端に近い方を基点として大きさを変えるようにします。
例えばウィンドウがディスプレイの右上にある場合、ウィンドウの右上を基点にして大きさを変更します。

表示倍率変更時にウィンドウのアスペクト比を維持する

表示倍率を変えた際に、現在の画面のアスペクト比を維持するようにします。

パン&スキャン変更時のウィンドウサイズ

映像のパン&スキャンやアスペクト比を切り替えた際の、ウィンドウサイズの合わせ方を選択します。

ワンセグ視聴時のウィンドウサイズを記憶・復元する

ワンセグ視聴時のウィンドウサイズをフルセグとは別に記憶して、フルセグとワンセグを切り替えた際にそれぞれのサイズを復元するようにします。

最小化時にタスクトレイに格納する

ウィンドウを最小化した際に、タスクトレイに格納されるようにします。

最小化時に再生を停止する

ウィンドウを最小化した際に、再生を停止するようにします。

ウィンドウ表示時に画面部分でカーソルを隠す

ウィンドウ表示時に、画面部分でカーソルを静止させるとカーソルが消えるようにします。

全画面表示時にはこの設定に関わらず常に消える動作になります。

ウィンドウのアイコンを局ロゴにする

TVTest のタイトルバーやタスクバーのアイコンを、現在のチャンネルの局ロゴにします。

タイトルバー文字列の形式

タイトルバーに表示する文字列のフォーマットを指定します。
文字列の中の連続した空白文字は除去されます。
% で囲まれた識別子は、当該の項目に置換されます。
使用できる識別子は、主に以下のようなものがあります。

識別子	内容
%event-name%	番組名
%event-title%	番組名から [字] などを取り除いたもの
%event-time%	番組開始～終了時間
%event-mark%	番組名の [字] などのマーク
%rec-circle%	録画中は●、録画中でない場合は空
%sep-hyphen%	-(ハイフン)区切り
%sep-slash%	/(スラッシュ)区切り

区切り(%sep- ? %)は、前後に何か文字がある場合に区切りが入れられ、何もない場合は空になります。

タイトルバーのフォント

チェックをするとタイトルバーのフォントに指定されたフォントを使用します。

チェックをしないと Windows の既定のフォントを使用します。

プログラムロゴを表示する

起動時や再生オフ時に、指定された画像をロゴとして表示します。
表示できるのは BMP 形式のみです。

スクリーンセーバーを無効にする

再生中はスクリーンセーバーが無効になるようにします。

モニタの省電力機能を無効にする

再生中はモニタの省電力機能が無効になるようにします。

アクティブ時のみ

TVTest がアクティブの場合のみ省電力機能を無効にします。

OSD

OSD表示

チャンネル切り替え時と音量の変更時に、画面表示を行います。

映像と合成する

映像と合成して OSD を表示します。

映像レンダラが VMR-7 / VMR-9 / EVR 以外の場合、この設定は無効になります。

文字色

文字の色を指定します。
黒(RGBすべて0)は透過色になるため使用できません。

フォント

OSD のフォントを選択します。

フォントのサイズは画面の大きさに合わせられますが、[スタイルファイル](#)で調整することができます。

表示時間

OSD の表示時間を指定します。

[映像と合成する] をチェックしている場合は、長めにしないとチャンネル切り替え時に表示が出ません。

(再生されていないと OSD の表示ができませんが、新しいチャンネルが再生される前に表示時間を過ぎてしまうため)

以下のOSD表示を行う

チェックされた操作を行った際に OSD 表示させます。

チャンネル切替の表示

チャンネル切り替え時の表示内容を選択します。

「ロゴのみ」を選択した場合も、ロゴが取得されていない場合はテキストを表示します。

チャンネル切替のテキスト

チャンネル切り替え時に表示するテキストの内容を設定します。

通知バー表示

画面上部に通知バーの表示を行います。

番組切り替わり時の番組名

番組が切り替わった際に、番組名が表示されるようにします。

TSプロセッサのエラー

[TSプロセッサ](#)のエラーが通知されるようにします。

表示時間

通知バーを表示する時間を秒単位で指定します。

フォント

通知バーのフォントを選択します。

ホーム/チャンネル選択画面

ホーム画面とチャンネル選択画面の設定を行います。

フォント

フォントを選択します。

[フォントサイズを画面の大きさに合わせる]がチェックされている場合、サイズは無視されます。

フォントサイズを画面の大きさに合わせる

画面の大きさに合わせてフォントのサイズを変えるようにします。
その際のサイズは[スタイルファイル](#)で調整することができます。

テーマ/配色

テーマで TVTest の見た目を変更することができます。
左上のコンボボックスからテーマを選択します。

保存

テーマを保存します。

TVTest のあるフォルダの Themes フォルダに設定が保存されます。

削除

選択されているテーマを削除します。

配色

左のリストで色を変更したい項目を選択して、右のパレットで色を選択します。

左のリストでは、複数の項目を同時に選択することができます。

パレットの色は、ダブルクリックして変えることができます(ただし変更の保存はされません)。

プレビュー

現在の配色をプレビューします。

操作

画面部分のドラッグでウィンドウを移動する

映像が表示されている部分をドラッグして、ウィンドウが移動できるようにします。

ホイール操作

ホイールでの操作に関する設定です。

ホイール

ホイールに割り当てる機能を選択します。

+Shift / +Ctrl

Shift / Ctrl キーを押しながらホイールを回転させた際に割り当てる機能を選択します。

チルト

ホイールのチルト(横回転)に割り当てる機能を選択します。
Microsoft のマウスの場合、Windows 2000/XP では IntelliPoint がインストールされている必要があります。

音量変更を逆順にする

ホイールでの音量変更を逆順にします。
通常はホイールを手前に回転させると音量が下がりますが、その動作を逆にする。

チャンネル切り替えを逆順にする

ホイールでのチャンネル切り替えを逆順にします。
通常はホイールを手前に回転させると次のチャンネルに切り替わりますが、その動作を逆にします。

チャンネル切り替えの待ち時間

ホイールの回転を停止させてから、実際にチャンネル切り替えを行うまでの待ち時間を1/1000秒単位で指定します。

ステータスバー上にカーソルがある時はそれに応じた動作を行う

ステータスバーの項目上にカーソルがある場合、ホイール操作でそれに合わせた動作を行うようにします。

例えば、ステータスバーの音量の部分にカーソルがある場合、常に音量の変更が行われます。

マウス操作

マウスでの操作に関する設定です。

左ダブルクリック

左ダブルクリックに割り当てる機能を選択します。

右クリック

右ボタンのクリックに割り当てる機能を選択します。

中央クリック

中央ボタン(ホイールボタン)のクリックに割り当てる機能を選択します。

マウスユーティリティなどで、中央ボタンに別の機能が割り当てられている場合は動作しません。

音量上げ下げの割合

キーボードやマウスホイールで音量の上げ下げを行う際の割合を指定します。

音ずれ補正の調整量

音ずれ補正を行う際の調整量をミリ秒(1/1000秒)単位で指定します。

チャンネル送りの順序

チャンネル送りの順序を選択します。

[リストの並び順] では表示されている順に、[チャンネル番号順] ではチャンネルに割り当てられたリモコン番号の順になります。

サブチャンネルを飛ばす

違う番組が放送されている場合以外は、サブチャンネルを飛ばすようにします。

キー割り当て

キー割り当て

各機能へのキー割り当てを設定します。

リストからキー割り当てを変更したいアイテムを選択して、Shift / Ctrl / Alt の各モディファイアキーを使う場合はチェックをして、その下のコンボボックスから割り当てたいキーを選択します。

キーは日本語 JIS キーボードでのものになっていますので、他のキーボードを使用している場合はキーが一致しないことがあります。

[グローバル] をチェックすると、TVTest のウィンドウがアクティブでない場合も有効になります。ただし、他のプログラムで既に割り当てられていない組み合わせを指定する必要があります。

キー割り当てを解除するには、割り当てを解除したい機能を選択してからコンボボックスから「なし」を選択するか、BackSpace 及び Delete キーを押します。

リストの「マルチメディアキー」の桁では、多ボタンマウスや MCE リモコンなどのマルチメディア系ボタンを設定できます。項目をクリックして割り当てたいボタンを選択するか、該当するボタンを押してください。

チャンネル番号入力の設定

数字キーなどでのチャンネル番号入力の設定を行います。

チャンネル番号入力の設定

数字キーなどでのチャンネル番号の入力に関する設定を行います。

数字キー / テンキー / F1～F12キー

各キーでのチャンネル番号入力の動作を選択します。

無効	チャンネル番号入力に使用しないようにします。
単キー	キーを押した段階でチャンネルを切り替えます。
連続入力	番号を連続して入力します。

[連続入力] にした場合、Enter キーで確定、Esc キーでキャンセル、BackSpace キーで1つ戻すことができます。

入力待ち時間

チャンネル番号入力時の待ち時間をミリ秒(1/1000秒)単位で指定します。指定した時間内に次の番号の入力がなかった場合、下の [時間切れ時の動作] が実行されます。

時間切れ時の動作

入力待ち時間内に次の番号が入力されなかった場合の動作を選択します。

確定	入力されている番号を確定してチャンネルを切り替えます。
キャンセル	入力をキャンセルしてチャンネルを切り替えません。

リモコン

コントローラ

設定の対象のコントローラを選択します。

アクティブ時のみ有効

TVTest がアクティブになっている場合のみコントローラが使用できるようにします。

ボタン割り当て

各ボタンに割り当てられている機能の一覧です。
割り当てる機能を変更するには、割り当てを変更したいボタンを選択して下のコンボボックスから機能を選択します。
割り当てを解除するには、コンボボックスから「なし」を選択するか、BackSpace 及び Delete キーを押します。

なお、HDUS のリモコンでは上下左右ボタンはカーソルキーに対応しています。
また、決定ボタンは Enter に対応しています。

BonDriver設定

BonDriver

設定の対象となる BonDriver を選択します。

初期チャンネル

BonDriver を読み込んだ際に最初に表示するチャンネルを指定します。

指定なし

チャンネルを指定しません。
通常何も表示されませんが、BonDriverによってはデフォルトでどこかのチャンネルを受信する場合があります。

前回終了時のチャンネル

前回終了時に表示していたチャンネルを表示します。

指定したチューニング空間/チャンネル

リストから選択したチャンネルを表示します。
チャンネルを「指定なし」にすると、チューニング空間のみ設定されま
す。

信号レベル取得不可

チェックすると、ステータスバーなどに信号レベルが表示されなくなります。

信号レベルが取得できない BonDriver の場合チェックしてください。

最初のチャンネル設定前のストリームを無視する

TVTest から BonDriver へ最初のチャンネル設定の要求をする前に来るストリームを無視して、処理しないようにします。

BonDriver によってデフォルトでどこかのチャンネルが受信された状態になる場合があります、最初に一瞬そのチャンネルが表示されてしまうのを防ぐための設定です。

チャンネル切り替え時にストリームを破棄する

チャンネル切り替えの際に、ストリームの破棄処理を行うようにします。

通常は BonDriver の側で行うのでチェックする必要はありません。

チャンネル切り替え時のエラーカウントをリセットする

チャンネル切り替えの後に、パケットエラーのカウントをリセットする
ようにします。

チューナーによってチャンネル切り替え時にパケットエラーがカウント
されますが、それをリセットしたい場合に指定します。

ストリームの取得を再生と同期する

BonDriver からのストリームの取得を再生と同期させます。
通常、ファイル再生用の BonDriver で指定します。
それ以外の BonDriver で指定すると、バッファ溢れによる遅延やドロップの原因となることがあります。

最初のチャンネル設定待ち時間

チューナーを開いてから、最初のチャンネル設定を行うまでの待ち時間を、ミリ秒単位で指定します。

チューナーを開いてすぐにチャンネル設定をすると問題の出るチューナーでは、待ち時間を増やしてください。

チャンネル切り替えの最小間隔

チャンネル切り替えを行う最小の間隔を、ミリ秒単位で指定します。
素早くチャンネル変更をすると問題の出るチューナーでは、間隔を開けるようにしてください。

映像

デコーダ

各映像フォーマットのデコーダを選択します。
「自動」を選択すると、利用可能なデコーダを検索して使用します。
リストにあっても実際には使用できないものもあります。
詳しくは[デコーダとレンダラ](#)を参照してください。

映像レンダラ

映像レンダラを選択します。

レンダラによって画質やパフォーマンスに影響を与えます。

Vista 以降の場合は EVR がいいと思います(ただしキャプチャの画質に問題あり)。

詳しくは[デコーダとレンダラ](#)を参照してください。

番組切り替わり時にパン&スキャンをデフォルトに戻す

番組が切り替わった際に、パン&スキャンの設定をデフォルトに戻すようにします。

このチェックをしていない場合でも、チャンネルを切り替えた際は必ずデフォルトに戻ります。

サイドカット時に両端をマスクしない

サイドカット時にカットした領域をマスクせずにそのまま表示します。
チェックをしないとカットした領域が黒くマスクされます。

全画面表示時にディスプレイに合わせて切り抜いて表示する

最大化時に画面の大きさに合わせて切り抜いて表示する

全画面表示/最大化時に、映像の端をカットして画面全体で表示するようにします。

例えば、16:9 の映像を 4:3 のモニタで見る場合、チェックをしないと上下に黒帯がついた状態で表示されますが、チェックをすると左右がカットされて黒帯のない状態で表示されるようになります。

拡張ヘッダのディスプレイサイズを無視する

MPEG-2 拡張ヘッダのディスプレイ拡張で指定されているサイズを無視するようにします。

パン&スキャンをデフォルトにした際に余計に切り抜かれる場合に指定してください。

複数モニタにまたがる時クリップする (EVR)

EVR 使用時、映像が複数モニタにまたがる場合に、最も多く重なるモニタでクリップします。

これは EVR のデフォルト動作です。

音声

音声デバイス

音声の出力に使用するデバイスを選択します。
特に理由が無ければデフォルトか DirectSound 系を選択してください。
DirectSound 系以外にすると、音量を変更した時にデバイスの音量も一緒に変わります。

音声フィルタ

選択した音声フィルタを利用するようにします。
フィルタは AAC デコーダと音声レンダラの間に接続されます。
リストにあっても実際には使用できないものも多いです。
S/PDIFパススルー出力を行う場合、通常は「なし」を選択してください。

S/PDIFパススルー

パススルーの設定

S/PDIF パススルーを有効にするか指定します。

「音声の形式に応じてパススルー出力を行う」を選択すると、下の[自動的にパススルーに切り替える形式]でチェックされている形式の時に自動的にパススルーになります。

[メニュー](#)の[音声]でもパススルーを切り替える事が出来ます(メニューからの変更は一時的なものになります)。

自動的にパススルーに切り替える形式

[パススルーの設定] を「音声の形式に応じてパススルー出力を行う」にしている場合の、自動的にパススルーに切り替える形式を選択します。

サラウンド

5.1ch 音声をダウンミックスして再生する

5.1ch の音声をステレオにダウンミックスして再生します。
音声の再生環境がサラウンドでない場合に指定します。

5.1ch の設定

5.1ch をステレオにダウンミックスする際の割り当てと、5.1ch での再生時の各チャンネルの割り当てを設定できます。

音声言語の優先度を指定する

音声の言語の優先度を指定します。上にあるものほど優先度が高くなります。

チェックをしない場合、デフォルト(1番目)の音声を選択されます。

再生

消音状態を次回起動時に復元する

終了時に消音状態だった場合、次回起動時も消音状態になるようにします。

再生オフの状態を復元する

再生オフの状態を終了した場合、次回起動時も再生オフの状態起動するようにします

ワンセグモードの状態を次回起動時に復元する

ワンセグモードで終了した場合、次回起動時もワンセグモードになるようにします。

タイマの分解能を最小に設定する

再生中にタイマの分解能を最小に設定するようにします。
特に理由がなければチェックしておくことをお勧めします。

音声サンプルのストリーム時間を調整する

音声サンプルのストリーム時間を、できるだけ連続するように調整します。

音飛びやプツプツとノイズが入ったりする場合にチェックすると改善する可能性があります。

このオプションを変更した際は、一回リセットしないと正常に再生されないことがあります。

映像と音声のPTSを同期する

PTS を使って映像と音声を同期させます。
主に一部のチャンネル(ワンセグや BS の特殊法人放送局)でのかくつきの
対策です。

音声レンダラのクロックを使わない

再生時に音声レンダラのクロックを使わないようにします。
通常は指定しませんが、音声途切れなどの問題が出る場合に指定すると改善することがあります。

バッファリング

最大バッファサイズ

バッファの最大容量をパケット(188バイト)単位で指定します。少な過ぎると、バッファが足りずに途切れ途切れになるなどの問題が起こります。

[ステータスバー](#)のバッファリング項目に、設定された最大サイズに対して現在何%使用されているかが表示されます。

データが溜まってから再生を開始する

指定された割合までバッファにデータが溜まってから、再生を開始するようにします。

通常は指定しませんが、ネットワーク越しの再生などでバッファアンダーフローが発生する場合に指定します。

有効/無効は[ステータスバー](#)のバッファリング項目の右クリックメニューからも行えます。

ワンセグ

フレームレートの調整を行う

ワンセグの再生時に、フレームレートの調整処理を行います。
ワンセグでかくつきが起こる場合、改善することがあります。
Microsoft DTV-DVD Video Decoder の使用時は常に無効になります。

ストリームスレッドの優先度

ストリームスレッド(ストリームの取得や録画などを行うスレッド)の優先度を選択します。

優先度を高くすると再生より録画が優先されることとなります。
特に理由がなければ [通常] でいいと思います。

キャプチャ

保存先フォルダ

キャプチャした画像の保存先のフォルダを指定します。
プログラムのあるフォルダを基準とした相対パスも指定できます。
何も入力しないと、プログラムのあるフォルダに保存されます。

ファイル名

画像のファイル名を指定します。

ファイル名の中で % で囲まれた識別子は当該の項目に置換されます。

右の [▼] ボタンを押すと、使用できる識別子の一覧から選択して挿入できます。

実際のファイル名は、ここで指定されたファイル名に拡張子が付加されます。

サブフォルダを指定することもでき、例えば %channel-name%\%event-name% のようにすれば、チャンネル名のサブフォルダに保存されます。

大きさ

キャプチャする画像の大きさを選択します。
ステータスバーのキャプチャアイコンを右クリックして表示されるメニューからも、大きさを変更することができます。

保存形式

画像の保存形式を選択します。

JPEG品質

JPEG の圧縮品質を指定します。

PNG圧縮レベル

PNG の圧縮レベルを指定します。

キャプチャアイコンでファイルに保存

ステータスバーにあるキャプチャアイコンをクリックした際に、画像をファイルに保存するようにします。

チェックをしないと、画像がクリップボードにコピーされます。
HDUSのリモコンのメモボタンでの動作もこの設定に従います。

コメントを設定する

キャプチャした画像ファイルに、指定されたコメントを設定します。
ファイル名と同様の形式で指定します。
BMP形式はコメントを設定できません。

チャンネルスキャン

対象チューニング空間

スキャンの対象とするチューニング空間を選択します。

チャンネル一覧

チャンネルの一覧です。

左側のチェックを外すと、そのチャンネルが選局対象として表示されなくなります。

また、各チャンネルの名前の部分をクリックして、名前を編集することができます。

各チャンネルをダブルクリック、または右クリックメニューからチャンネルのプロパティを表示して、チャンネル名やリモコン番号を変更することができます。

サービスを検索する

各チャンネルのサービスを検索するようにします。
チャンネル切り替えで、サービスを直接選択することができるようになります。

BS/CS をスキャンする場合はチェックを入れてください。
地デジの場合、NHK教育や放送大学などのマルチ放送を行っている局で、各サービスをチャンネルとして切り替えたい場合に指定します。

信号レベルを無視する

スキャン時に信号レベルを無視します。
このオプションを指定するとスキャンに掛かる時間が増えます。
信号レベルを取得できない BonDriver の使用時にチェックします。

スキヤンの詳細設定

チャンネルスキヤンの動作の詳細な設定を行います。

[チャンネルスキヤンの詳細設定](#)

プリセット読み込み

BS/CS のチャンネルのプリセットを読み込みます。
BonDriver やその設定によってはプリセットが利用できない場合があります。

スキャン開始

チャンネルスキャンを開始します。

チャンネルスキャンの詳細設定

検出対象とする信号レベル

信号レベルが指定された値以上の場合に検出対象とします。

チャンネル切り替え後の待ち時間

チャンネルを切り替えてから検出処理を行うまでの待ち時間を選択します。

チャンネル切り替え後に安定しないデバイスの場合は長めにするといいかも知れません。

チャンネル検出の最大待ち時間

チャンネル検出処理の最大待ち時間を選択します。
チャンネルの切り替えに時間が掛かるデバイスの場合は長めにするとい
いかも知れません。逆にチャンネル切り替えが早い場合は短めにする
とスキャンが早く終わります。

データ放送サービスを検出する
データ放送のサービスを検出します。

ワンセグサービスを検出する
ワンセグのサービスを検出します。

音声サービスを検出する

音声サービス(ラジオ)を検出します。

EPG/番組情報

EPG情報をファイルに保存する

取得した EPG 情報をファイルに保存して、次回起動時に利用できるようにします。

ファイル名

保存するファイル名を指定します。
フォルダを省略すると、プログラムのあるフォルダに保存されます。

待機時にEPG情報を取得する

常駐時に待機状態に入った時、EPG情報を取得するようにします。

番組表取得時に番組詳細情報を取得する

EPG 番組表のメニューから [番組表の取得開始] を選択した時か、待機時に EPG 情報を取得する時に、BS/CS の番組詳細情報を取得するようにします。

詳細情報を取得すると、より詳しい番組内容が見られますが、取得にかかる時間が増えます。

詳細情報を取得しない場合、EPG の仕様上、放送中の番組が取得されないことがあります。

EpgDataCap_BonのEPGデータを利用する

EpgDataCap_Bon の EPG データ(*_epg.dat)を利用するようにします。

EPGデータのフォルダ

EpgDataCap_Bon の EPG データ(*_epg.dat)のあるフォルダを指定します。

放送局ロゴ

放送局ロゴに関する設定です。ロゴについては[放送局ロゴの取得について](#)を参照してください。

ロゴデータをファイルに保存する

放送波から取得したロゴデータをファイルに保存して、次回起動時に利用できるようにします。

1つのファイルに全てのチャンネルのロゴが保存されます。

ファイル名

保存するファイル名を指定します。
フォルダを省略すると、プログラムのあるフォルダに保存されます。

BMP形式のロゴを保存する

指定されたフォルダにロゴデータを BMP 形式で保存します。
ロゴの画像を何かに使いたい場合などに指定してください。
ファイル名は、"ネットワークID_ロゴID_バージョン_ロゴの種類.bmp"
という形式で付けられます。
BS/CS では大量のファイルが作成されますので注意してください。
なお、透明(真っ黒)な画像が保存されることがありますが、放送を終了
した事業者は透明な画像を送出するように定められているためです。

生データ形式のロゴを保存する

指定されたフォルダにロゴの生データを保存します。

ロゴのファイル名は、"ネットワークID_ロゴID_バージョン_ロゴの種類"という形式で付けられます。これは TVLogoMark と互換性のある形式です。

ロゴは ARIB 独自仕様の PNG 形式で、保存しても通常特に利用方法はありません。

BS/CS では大量のファイルが作成されますので注意してください。

ロゴのフォルダ

ロゴの保存を行うフォルダを指定します。
また、もし TVTest がまだ取得していないロゴのファイルがこのフォルダにある場合、そのファイルからロゴを取得します(TVLogoMark で取得したロゴを利用できるようにするため)。

番組情報

ステータスバーの番組情報の項目や EPG 番組表でポップアップ表示される番組情報の設定です。

フォント

番組情報のポップアップ表示のフォントを指定します。

EPG番組表

番組表を画面内に表示する

番組表を画面内(映像の表示される部分)に表示するようにします。
チェックをしないと別ウィンドウで表示されます。
マルチモニタ環境でなければ、全画面表示時に番組表を表示した場合は常に画面内に表示されます。

現在のチャンネルまでスクロールする

番組表を表示した際に、現在のチャンネルまでスクロールします。

1日の開始時刻

一日分の表示の最初の時刻を指定します。
今日の分はこの設定に関わらず常に現在の時刻からの表示になります。

1画面の表示範囲

1画面(一日分)に表示する時間の範囲を指定します。

チャンネルの幅

1チャンネル当たりの幅をピクセル単位(96 dpi 時)で指定します。

1時間当たりの行数

1時間当たりの行数を指定します。

フォント

番組表の表示に使用するフォントを指定します。

DirectWrite を使用する

番組表の文字描画に DirectWrite を使用します。

アイコン

番組表に表示するアイコンを選択します。

ホイールのスクロール行数

マウスホイールでスクロールする行数を指定します。

0にするとシステムの設定に従います。

使用しているマウスのドライバ/ユーティリティや設定によっては、ホイールでのスクロールを「ホイールが回された(WM_MOUSEWHEEL)」という通知ではなく「スクロールしろ(WM_VSCROLL)」という通知で送って来るので、この設定は反映されないことがあります。

番組の左ダブルクリック動作

番組表の各番組を左ダブルクリックした際に実行する機能を選択します。

外部プログラム

任意のプログラムを外部プログラムとして登録します。
登録したプログラムは、番組表の右クリックメニューから実行できます。

外部プログラム

名前

任意の名前を指定します。
この名前はメニュー項目に表示されます。

コマンド

実行するプログラムとそのコマンドラインオプションを指定します。
プログラムはフルパスで指定してください。

指定例:

```
"C:\Program Files\EpgTimer_Bon.exe" "%tvpid%"
```

```
C:\Windows\System32\cmd.exe /k echo %start-year%/start-month%/start-da
```

パラメータの挿入

コマンドのキャレット位置に、選択したパラメータを挿入します。

プラグイン

プラグインの一覧

読み込まれているプラグインの一覧です。
各プラグインの右クリックメニューで、設定の変更とアンロードが行えます。

TSプロセッサ

TSプロセッサは、プラグインによりTSに対して処理を行うものです。TSプロセッサのプラグインが読み込まれている場合、ここで設定を行うことができます。

TSプロセッサ

設定の対象となるTSプロセッサを選択します。

プロパティ

TSプロセッサのプロパティを表示します。

処理を有効にする

このTSプロセッサーでの処理を有効にします。

デフォルトモジュール

デフォルトで使用するモジュールを指定します。

デフォルトデバイス

デフォルトで使用するデバイスを指定します。
空欄にするとTSプロセッサのデフォルトのデバイスが使用されます。

デフォルトフィルター

デフォルトで使用するフィルターを指定します。
空欄にするとデバイスのデフォルトのフィルターが使用されます。

チューナーマップ

チューナーやネットワーク毎に使用するフィルターを指定したい場合、チューナーマップに登録します。

リストの上から順に見て行き、最初に一致した設定が使われます。

各項目の左のチェックを外すと、その項目の設定を一時的に使用しないようにできます。

[追加] ボタンを押すと、新しい[チューナーマップ](#)の設定を追加できます。

チューナーマップ

チューナーマップの指定により、チューナーやネットワークID・TSID・サービスIDに応じて使用するフィルターを自動的に切り換えることができます。

情報の送信頻度の関係で、ネットワークIDよりTSIDで指定した方が切り替えが早くなります。

チューナー

設定の対象となるチューナーを指定します。ワイルドカードとして*と?が利用可能です。

空欄にすると全てのチューナーが対象になります。

ネットワークID

設定の対象となるネットワークIDを指定します。
空欄にすると全てのネットワークIDが対象になります。

TSID

設定の対象となるTSID(Transport Stream ID)を指定します。
空欄にすると全てのTSIDが対象になります。

サービスID

設定の対象となるサービスIDを指定します。
空欄にすると全てのサービスIDが対象になります。

処理を有効にする

指定されたチューナーの使用時にTSプロセッサの処理を有効にします。

モジュール

使用するモジュールを指定します。空欄にするとデフォルトのモジュールになります。

デバイス

使用するデバイスを指定します。空欄にするとデフォルトのデバイスになります。

フィルター

使用するフィルターを指定します。空欄にするとデフォルトのフィルターになります。

処理を無効にする

指定されたチューナーの使用時にTSプロセッサの処理を無効にします。

ログ

各種の動作履歴が表示されます。

コピー

動作履歴をクリップボードにコピーします。

保存

動作履歴をファイルに保存します。
プログラムと同じフォルダに、TVTest.exe.log という名前で保存されます。

クリア

すべての動作履歴をクリアします。

ログを逐次ファイルに書き出す

実行時に、ログを逐一ファイルに書き出します。
ログはプログラムと同じフォルダに、TVTest.exe.log という名前で保存されます。
何か問題が起こる場合に参考にしてください。

補遺

- [FAQ \(よくある質問\)](#)
- [Tips](#)
- [デコーダとレンダー](#)
- [放送局ロゴの取得について](#)
- [チャンネルファイル](#)
- [スタイルファイル](#)

FAQ (よくある質問)

音声だけ出て映像が出ない

映像の再生には MPEG-2 のデコーダ・フィルタが必要です。
また、デコーダによっては動作しないものもありますので注意してください。

動作が確認されているデコーダについては、「[デコーダとレンダラ](#)」のページを参照してください。

デコーダが入っているのに映像が出ない場合は、レンダラを変えてみてください。

デコーダとレンダラは環境依存性が強く、組み合わせの相性もあるので色々試してみてください。

映像に縞々が入る/映像が波打つ

放送はインターレース方式で行われているために、インターレースを解除する必要があります。

デコーダによってはプロパティにインターレース解除の設定がありますので、右クリックメニューから [フィルタのプロパティ] -> [映像デコーダ] で設定します。

ATI のデコーダは Catalyst Control Center (CCC) で設定できます。

デコーダで設定できない場合、レンダラを VMR9 や EVR にしてみるといいでしょう。

録画した番組を再生すると違う番組が再生される

デジタル放送では、一つのストリームで複数の番組を同時に放送することができます。

そのため、再生時に意図しない番組が再生されてしまうことがあります。

[録画の設定](#)で「現在のサービスのみ保存する」のチェックを入れるか、TsSplitterで分離するなどしてください。

録画した番組を再生すると音声(映像)が出ない/途中で出なくなる

放送では音声や映像の形式が切り替わることがありますが、再生ソフトが対応していないと音が出なくなったり映像が出なくなったりします(多くのプレイヤーが対応していないのが現状です)。

再生ソフトを変えるか、音声や映像の切り替わり点でファイルをカットするなどしてください。

BonDriver_File+TVTestPlugin や TvtPlay といったプラグインを使用して、TVTest でファイルの再生を行うこともできます。

「BonDriverの初期化ができません」と表示される

BonDriver からエラーが返ってきたためです。
具体的にどのようなエラーが起こったのかを、呼び出し元のプログラムから知る方法はありません。
デバイスが認識されていないか既に使用中の場合が多いと思われます。

音量を最大にしても音が小さい

右クリックメニューから [音量] -> [音量増幅] を選択してください。
Vista 以降の場合は音量ミキサで TVTest の音量を上げてください。

かくつく・音ずれする

映像がかくつく場合、以下を試してみてください。

- **設定**の **[OSD]** で **[映像と合成する]** のチェックを外す。
- Radeon の場合、Catalyst Control Center (CCC) で **[Avivo ビデオ]** -> **[すべての設定]** にある **[強制的になめらかなビデオ再生を実行する]** のチェックを外す。

設定の **[再生]** で各種設定を変更すると改善する場合があります。
一時的におかしくなった場合、右クリックメニューから **[リセット]** -> **[ビューアリセット]** か **[リセット]** で直ることがあります。

マルチディスプレイ環境でセカンダリモニタで映らない/不正
終了する

レンダラを VMR-9 や EVR にしてみる、またデコーダを変えてみてくだ
さい。
場合によっては DxVA を切ったりレジストリを書き換えたりする必要が
あります。

映像が正方形に表示される

CyberLink のデコーダとデフォルトレンダラの組み合わせで、1080x1080(4:3) の映像を表示すると起こるようです。レンダラをデフォルト以外にしてみてください。

16:9 の映像がサイドカットされる

なぜか 16:9 の映像なのに、MPEG-2 のヘッダにサイドカットして表示するという情報が設定されていることがあるためです。

ver.0.6.0 から表示できる領域があればサイドカットしない仕様になりましたが、4:3 として扱われるために表示倍率の変更時や全画面表示時に問題が出ます。

手動で比率を指定するか [設定の表示](#) で [拡張ヘッダのディスプレイサイズを無視する] をチェックしてください。

キャプチャで一瞬止まる

レンダラに VMR9 Renderless を使用してください。
また、ちゃんとしたキャプチャをしたい場合は TSMemory を使用してください。

起動時にアンチウイルスソフトが反応する

アクティブでない時もリモコンを使えるようにするためにキーボードフックを使用していますが、これはキーロガー等にも使われるためにアンチウイルスソフトが反応してしまうことがあります。

リモコンを使用しないのであれば HDUSRemocon.tvtp と HDUSRemocon_KeyHook.dll を削除しても問題ありません。

リモコンを使用する場合、アンチウイルスソフトで除外設定するか、[リモコンの設定](#)でアクティブ時のみ有効にしてください。

ウィンドウのサイズが変更できない/ウィンドウの挙動がおかしい

TVTest ではウィンドウのスナップ処理などを行っている関係で、ぴたすちお等同様の機能を提供するプログラムと相性が悪いです。
TVTest.exe を除外指定してください。

メモリ使用量が多い

メモリを使っているのは DirectShow の部分(主に MPEG-2 デコーダ)ですので、私にはどうしようもありません。

MPEG-2 デコーダで DxVA を使用するとメモリ使用量が増えるので、(使用量を減らすことを優先する場合)オフにするか、DxVA を使用しないデコーダにしてみてください。

録画のみ行う場合は、[コマンドラインオプション](#)で /nodshow を指定すると、メモリ使用量がかなり少なくなります。

ブルースクリーンが出る

Windows XP 以降でブルースクリーンが出るのは、ほとんどの場合ハードかドライバの問題です。

起動する度にセキュリティ警告のダイアログが表示される

TVTest.exe を右クリック -> [プロパティ] -> [ブロックの解除]

Tips

他の BinDriver のチャンネルに直接切り替える

ステータスバーの一番左(デフォルトの場合)にある [地デジ] などと表示されている部分を右クリックすると、直接他の BonDriver のチャンネルに切り替えられます。

多ボタンマウスのボタンに機能を割り当てる

設定の [[キー割り当て](#)] で、左のリストから割り当てたい機能を選択してからボタンを押します。

マウスユーティリティなどの設定によっては割り当てできません。

タイトルバーを普通のものにする

メニューの [バー/枠] -> [独自タイトルバーを使用] のチェックを外します。

ウィンドウの枠を細くする

メニューの [バー/枠] -> [ウィンドウ枠: 細くする] をチェックすると、幅 1ドット(デフォルトの場合)の細い枠になります。

ウィンドウ枠を細くした場合の幅は、設定ファイル(TVTest.ini)の [Settings] に `ThinFrameWidth=x` の形で設定できます。

タイトルバーを非表示にした時、マウスオーバーで自動表示されないようにする

タイトルバーを非表示にした際は、ウィンドウの上部にカーソルを持っていくと一時的に表示されますが、それを抑止したい場合は設定ファイル(TVTest.ini)の [Settings] に以下の設定を追加してください。

```
; タイトルバーの自動表示を抑止  
PopupTitleBar=no
```

この設定は全画面表示時には適用されません。

最小化/最大化時などにタイトルの文字列を変える

最小化時や最大化時にタイトルの文字列の形式を変えたい場合、設定ファイル(TVTest.ini)の [Settings] に以下の設定を追加してください。
[表示設定](#)の [タイトルバー文字列の形式] と同じものが指定できます。

MinimizedTitleTextFormat	最小化時の文字列です。
MaximizedTitleTextFormat	最大化/全画面表示時の文字列です。
TaskbarTitleTextFormat	タスクバーに表示する文字列です。 メニュー の [バー/枠] -> [独自タイトルバーを使用] がチェックされている時のみ有効です。

EPG の表示日時を Windows のタイムゾーンの設定に合わせる

デフォルトでは、EPG の番組情報の日時は日本時間(UTC+9)になっています。

設定ファイル(TVTest.ini)の [Settings] にある EpgTimeMode で以下のように設定を変更することができます。

EpgTimeMode=0	EPG の日時(基本的に日本時間)
EpgTimeMode=1	日本時間(UTC+9)
EpgTimeMode=2	Windows のタイムゾーンの設定に合わせた日時
EpgTimeMode=3	UTC(協定世界時)

0 と 1 は現在のところ通常同じですが、0 の場合は夏時間が反映されませんので、日本に夏時間制度が導入された場合は変わってきます。

デコーダとレンダラ

TVTestで利用可能なデコーダとレンダラについて解説します。

MPEG-2 デコーダ

以下のデコーダは動作が確認されています。

名前	特記事項
TVTest DTV Video Decoder	TVTest のフォルダに配置するとインストールせずに使えます。
ATI MPEG Video Decoder AMD Video Decoder	インターレース解除などは、CCC で設定します。 一部ノイズが出る場合があります。
DScaler Mpeg2 Video Decoder	2006年の Alpha 版で開発停止しています。
ffdshow Video Decoder	オリジナルの ffdshow は2006年に開発停止、後継の ffdshow tryouts も既にほぼ開発停止しています。 チャンネル切り替え時にノイズが出るなどの問題が出る可能性があります。
LAV Video Decoder	再生オフからオンに切り替えた時に映像が表示されません。 その場合もう一度オフ・オンを繰り返してください。
Microsoft MPEG-2 Video Decoder Microsoft DTV-DVD Video Decoder	Windows Vista 以降に付属しているデコーダです。 Windows 8 以降では MPEG-2 のデコードは有料オプションです。
MPV Decoder Filter MPC - MPEG-2 Video Decoder Mpeg2Dec Filter	Media Player Classic のデコーダとその派生デコーダです。 MPC-BE の Standalone filters から入手可能です。

レンダラ

以下の映像レンダラが利用できます。
基本的に Vista 以降では EVR をお勧めします。

名前	説明
システムデフォルト	システムのデフォルトレンダラ。通常古いレンダラが使われます。
VMR7	DirectDraw 7 を使用したレンダラ。 XP の標準的なレンダラです。
VMR9	Direct3D 9 を使用したレンダラ。
VMR7 Renderless	特に選ぶ意味はありません。
VMR9 Renderless	カスタム アロケータ プレゼンタを使用した VMR9。 キャプチャが高速に行えます。
EVR	Vista 以降用のレンダラ。 ハードウェアによる再生支援やインターレース解除に必要です。
EVR (Custom Presenter)	EVR のプレゼンタをカスタム実装したもの。EVR で問題がある場合(マルチディスプレイ環境など)に試してください。
Overlay Mixer	オーバーレイを使用した古いレンダラ。 Vista で使用すると Aero が解除されます。
madVR	madVR がインストールされていれば利用できます。 v0.24 以降でないといとフリーズします。

放送局ロゴの取得について

デジタル放送では各チャンネルのロゴの画像が送出されています。ロゴは大小3種類ずつ計6種類の大きさのものが送信されています。ロゴのデータは送出頻度が低いので、視聴していたらいつの間にか取得された、という形になると思います。取得されているロゴはプラグインの「局ロゴの一覧」で見ることができます。

地デジの場合、ロゴはそれぞれのチャンネルで送出されています。各種類がばらばらに送られていますので、全ての種類のロゴを取得するには数十分掛かることがあります。

BS/CS の場合、NHK BS1 などと同じストリームにあるエンジニアリングサービスで全局のロゴが送出されていますので、BS1 を選局すれば取得できます。

通常20分に一回ぐらい送信されてきますが、毎回全局のロゴが送信される訳ではありません。また、時期によって全然ロゴを送信していないこともあります。

なお、局ロゴの一覧プラグインを表示しておく、と、ロゴが取得できたら表示されるので分かりやすいと思います。

(チャンネルパネルの表示は、すぐには更新されません)

チャンネルファイル

チャンネルファイルは、チャンネルの設定が保存されているファイルです。

TVTest ver.0.8.0 から、cap_hdus などと互換性のあるチャンネルファイル (*.ch)は使用できなくなりました。

チャンネルファイルの優先度

[チャンネルスキャン](#)を行うと、BonDriver と同じベース名の *.ch2 ファイルが作成されます。このファイルが存在する場合、TVTest はこのファイルからチャンネル設定を読み込みます。
チャンネルファイルが存在しない場合は、BonDriver の対応している全てのチャンネルから選択するようになります。

スタイルファイル

スタイルファイルは、各部の大きさなどを設定するファイルです。
デフォルトのファイル名は TVTest.style.ini です。

設定項目

設定できる項目は多数存在しますが、その中で特殊なもの、有用なものを説明します。

設定名	説明
program-guide.header.shadow.height	EPG 番組表の上部の影の高さです。0にすると影がなくなります
program-guide.event.line-spacing	EPG 番組表の行間です。
osd.text-size-ratio	OSD 表示の文字の大きさを、画面の幅の何分の1にするか指定します。
osd.composite-text-size-ratio	OSD 表示を映像と合成する場合の文字の大きさを、画面の幅の何分の1にするか指定します。
channel-osd.logo.effect	チャンネル変更時に表示される局ロゴの表示効果を設定します。 "gloss" でテカリ効果、空 "" で効果なしになります。
channel-osd.animation	チャンネル変更時の OSD をアニメーションさせる場合は true、させない場合は false を指定します。
display.text-size-ratio.horz display.text-size-ratio.vert	ホーム/チャンネル選択画面の文字サイズを画面に合わせる場合の文字の大きさを、画面の幅と高さの何分の1にするかで設定します。 幅と高さのうち小さい方のサイズが実際に反映されます。
display.text-size-scale-base	ホーム/チャンネル選択画面の文字の大きさを画面の大きさから求める際のスケールを調整します。 数値を大きくするほど画面サイズが大きい場合の文字サイズが小さめになります。 0にすると画面サイズと文字サイズが比例します。
display.text-size-min	ホーム/チャンネル選択画面の文字の大きさの最小サイズを設定します。
display.text-size-max	ホーム/チャンネル選択画面の文字の大きさの最大サイズを設定します。

ステータスバー

項目

ステータスバーの表示項目を設定します。
アイテムをドラッグして項目を移動できます。
左のチェックを外すと、その項目は表示されなくなります。
項目のプレビューの右端をドラッグすると、各項目のサイズを変えることができます。

デフォルトに戻す

項目をデフォルトに戻します。

フォント

使用するフォントを指定します。

複数行表示

項目が表示しきれない場合に、複数行で表示するようにします。

最大行数

複数行で表示する場合の最大行数を指定します。

ポップアップ表示する

ステータスバーを非表示にしている時、マウスカーソルを画面の下に移動した際に一時的に表示されるようにします。

不透明度(Windows8以降)

ポップアップ表示時の不透明度を指定します。

サイドバー

ポップアップ表示する

サイドバーを非表示にしている時、マウスカーソルを画面の端に移動した際に一時的に表示されるようにします。

不透明度(Windows8以降)

ポップアップ表示時の不透明度を指定します。

ツールチップを表示する

ツールチップ(チップヘルプ)が表示されるようにします。

チャンネルのアイコンを局ロゴにする

サイドバーのチャンネル切り替えのアイコンを、そのチャンネルの局ロゴにします。

表示する項目

サイドバーに表示する項目の一覧です。

上へ

選択されている項目を一つ上に移動します。

下へ

選択されている項目を一つ下に移動します。

削除

選択されている項目を削除します。

デフォルト

項目をデフォルトに戻します。

表示できる項目

サイドバーに表示できる項目の一覧です。

追加

選択されている項目を表示する項目に追加します。
[表示する項目]で選択されている項目があればその位置に、なければ最後に追加されます。

区切り

表示する項目に区切りを追加します。

[表示する項目] で選択されている項目があればその位置に、なければ最後に追加されます。

パネル

メインウィンドウの端にスナップする

パネルのウィンドウを移動した際に、メインウィンドウの端にぴったりとくっつくようにします。

メインウィンドウの移動/サイズ変更時に連動する

パネルがメインウィンドウに隣接している場合、メインウィンドウを移動した際にパネルを一緒に動かすようにします。

不透明度

パネルウィンドウがフローティング状態の際の不透明度を指定します。

フォント

パネルのフォントを指定します。

字幕のフォント

字幕パネルのフォントを指定します。
チェックをしないとパネルのフォントと同じになります。

項目

項目の並び順と表示/非表示を指定します。
各項目の左側のチェックを外すと、その項目が表示されなくなります。

最初に表示するタブ

起動時に最初に表示するタブを選択します。

タブの表示スタイル

タブに文字を表示するか、アイコンを表示するか、両方表示するかを選択します。

タブのツールチップを表示する

タブがアイコンのみ表示か文字が表示しきれない場合、ツールチップを表示するようにします。

メニュー設定

チャンネルメニューの最大行数

チャンネルのメニューの最大行数を指定します。
チャンネル数がこの行数を超える場合、複数列で表示されます。

番組情報を表示する最大数

チャンネルのメニューに番組情報を表示する最大数を指定します。
チャンネル数がこの数を超える場合、番組情報が表示されなくなります。

表示項目

メニューに表示する項目を設定します。
項目の左側のチェックを外すと、その項目は表示されなくなります。
なお、Shift キーを押しながら右クリックすることで、ここでの設定を無視してデフォルトのメニューを表示させることができます。

録画

保存先フォルダ

録画したファイルの保存先のフォルダを指定します。
プログラムのあるフォルダを基準とした相対パスも指定できます。

ファイル名

録画したファイルのファイル名を指定します。
ファイル名の中で % で囲まれた識別子は当該の項目に置換されます。
右の [▼] ボタンを押すと、使用できる識別子の一覧から選択して挿入できます。
番組に関するもの(%event-name% など)は、次の番組が一分以内に始まる場合は次の番組のものに設定されます。
%event-title% は、番組名(%event-name%)から [二] など [] に囲まれたものを取り除いたものです。
サブフォルダを指定することもでき、例えば %channel-name%\%event-name%.ts のようにすれば、チャンネル名のサブフォルダに保存されます。

録画中のチャンネル変更は確認を取る

録画中にチャンネルを変更しようとした場合、確認メッセージを表示するようにします。

録画中の終了は確認を取る

録画中に終了しようとした場合、確認メッセージを表示するようにします。

録画停止は確認を取る

録画を停止させようとした場合、確認メッセージを表示するようにします。

空きディスク容量が少ない場合に注意表示を行う

録画時に、ファイルの保存先の空き容量が指定された容量以下になった場合に、注意表示を行うようにします。

ステータスバーでの録画開始の動作

ステータスバーの項目をクリックして録画開始する場合の動作を選択します。

現在のサービスのみ保存する

録画時に、現在選択されているサービスのみ保存するようにします。
詳細指定での録画を行う場合は、そちらの設定が優先されます。
このオプションを使用した場合は、PID が 0000h-002Fh / EMM / 対象
PMT、また対象 PMT に含まれる PCR / ECM / ES が保存されます。
このオプションを使用して録画する場合、録画中にサービスの変更を行
うと正常に再生できなくなる可能性があります。
この設定を変更すると、さかのぼり録画のバッファが初期化されます。

字幕データを保存する

字幕データ(Stream type 06h)を保存します。
この設定を変更すると、さかのぼり録画のバッファが初期化されます。

データ放送を保存する

データカプセル(Stream type 0Dh)を保存します。
この設定を変更すると、さかのぼり録画のバッファが初期化されます。

さかのぼり録画のメモリサイズ

さかのぼり録画を行う場合に確保する最大メモリサイズを MiB 単位で指定します。

さかのぼり録画を行う際に、ここで設定されたサイズ分だけ過去のデータを録画できます。地デジの場合、一秒でおよそ2MB程度です。

さかのぼり録画を有効にしていない時にはメモリの確保はされません。

ファイル書き出し単位

ファイルに書き出すバッファのサイズを KiB 単位で指定します。

書き出し待ちのサイズ制限

録画にディスクの書き込みが追いつかない場合メモリに溜められますが、ここで指定された上限サイズを超えた場合、超えた分のデータが破棄されます。